

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00636 )

事務事業名称	オリンピック・パラリンピックの推進				款	03	項	01	目	01	事業	018	整理番号	069
現担当課名	文化・交流課		係名	オリンピック・パラリンピック			連絡先電話番号	3774		昨年度整理番号	071			
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	臨時事業				
事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	05	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 3年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	一般				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民	根拠法令等	( 1 ) 杉並区2020東京オリンピック・パラリンピック庁内連絡調整会議設置要綱 ( 2 ) 杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会運営要綱
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、スポーツの振興、障害者の理解促進等を通して、地域の活性化、有益な遺産 ( レガシー ) を創出するにぎわいのあるまちづくりを推進していく。	活動指標	指標名 ( 1 ) 区民懇談会の開催 指標説明 指標名 ( 2 ) オリパラ関連事業の開催 指標説明
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた庁内の関連事業を推進する。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区民の気運醸成を図る事業を実施する。 杉並区における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会を運営する。	成果指標	指標名 ( 1 ) 区が実施する各種オリンピック・パラリンピック関連イベントへの参加者数 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	2	3	2	2	1	0	50.0	73.1
活動指標 ( 2 )	2	23	21	23	11	22	0	200.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	18,419	10,000	300,496	200,000	36,388	0	18.2	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	12,337	18,934	17,561	32,164	23,510	0	特記事項	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	執行率については、オリンピック聖火リレーの公道走行中止に伴う契約変更及び大会の無観客開催等に伴うホームステイ・ホームビジット支援事業の未実施等により、73.1%に止まりました。	
( 内 ) 委託費	7 千円	6,031	11,680	11,466	19,714	12,453	0		
職員数	8 人	2.80	4.50	5.30	5.00	5.52	0.00		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	24,410	39,231	45,066	42,515	46,053	0		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	36,747	58,165	62,627	74,679	69,563	0		
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	18,373,500	19,388,333	31,313,500	37,339,500	69,563,000	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	6,329	8,530	5,775	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	4,544	0	8,005		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	2,000		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	6,329	8,530	10,319	0	10,005		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	30,418	49,635	52,308	74,679	59,558	0		
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 069

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	オリンピック・パラリンピック普及啓発事業の実施	22	事業	10,356
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた懇談会の開催	1	回	32
	オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致	2	国	12,483
	ホームステイ・ホームビジット支援事業の実施	1	回	639
	その他 ( )			
事業実績	<p>区民懇談会と連携し、ホストタウンとなった国の文化や歴史を紹介する展示など22の普及啓発事業に取り組みました。7月の事前キャンプ受け入れでは、カヌー（スプリント）選手（イタリア）7人、ボクシング選手（ウズベキスタン）46人を受け入れるとともに、オンラインを活用したパブリックビューイングを行いました。また、ホームステイ・ホームビジット支援事業は、コロナ禍で実施できなかったものの、令和4年度以降のホームステイ・ホームビジットによる区民間の交流を見据え、区内大学と連携し、区立施設でアート展示を行いました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、大会の理解促進や気運醸成に取り組む中で、スポーツの振興にとどまらず、文化プログラムや多様なイベント事業等に取り組むため、平成28年度から区長部局にオリンピック・パラリンピック連携推進担当の部門を設置しています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか実施された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でしたが、概ね成功といえる結果であったと捉えています。杉並区においても、事前キャンプをきっかけとしたホストタウン交流や、1,400人を超える区民ボランティアの登録など、大会遺産（レガシー）として掲げた取組について一定の成果を残すことができました。令和3年度末をもって担当部署は解散となりますが、区の関連部署に適切な事業移管を行い、これらの大会遺産（レガシー）を引き続き育て、発展させていくことが課題となります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>普及啓発事業では、オンライン上に開設した美術館「Suginami Web Museum」において「棟方志功展」を開催するなど22の事業を実施し、3万人を超える方々の参加がありました。また、区民懇談会では、杉並の新たなお土産「すぎばん」を制作するなど、大会遺産（レガシー）を創出することができました。事前キャンプを誘致し、イタリアカヌー（スプリント）の選手7人、ウズベキスタンボクシングの選手46人を受け入れ、オンライン等を活用した区民との交流を図りました。ホームステイ・ホームビジット支援事業においては、大会の無観客開催に伴い事業は未実施となりましたが、ホストファミリー向けに、区内の観光スポットを巡るガイドツアー育成講座を開催し、60人を超える方々の受講がありました。</p>
評価と課題	<p>区は、区民懇談会の意見等を踏まえ、大会遺産（レガシー）として、杉並区オリンピック聖火リレーの実施、ボランティア活動の参加促進、事前キャンプをきっかけとしたホストタウン交流の3点を掲げ取り組んできました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オリンピック聖火リレーは中止となりましたが、ボランティア活動の参加促進では1,489人のボランティア登録があり、令和3年度は延249人が事業に従事しました。また、事前キャンプの誘致では、イタリア、ウズベキスタン両国から選手を受け入れ、区民と交流を図りました。大会を終えた今後の課題は、ボランティアに向け継続的に活躍の場を提供していくこと、ホストタウンとなった国と連携した文化・交流事業等を通じて、関係の深化を図っていくことです。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の終了を受け、令和3年度をもって本事業は終了となりましたが、区民懇談会とともに取り組んできたホストタウン交流やボランティアの活用などの大会遺産（レガシー）を引き継いだ部署にて適切に発展させていきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00532 )

事務事業名称	生涯スポーツ振興事業				款	03	項	06	目	01	事業	001	整理番号	108	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	事業係		連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	115					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和37年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	05							
令和 3年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	社会教育法第2、3、5条、スポーツ基本法第22条、32条 杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	各種生涯スポーツ事業回数 共催件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	第30期 (令和2~3年度) スポーツ推進委員 (25名) と、地域拠点活動や、綱引き大会などのレクリエーションスポーツの普及啓発を行う。重度心身障害者スポーツ教室 (わいわいスポーツ教室) をボランティア等と年6回開催する。交流自治体中学生野球大会 (台湾台北市にて開催) に参加する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数 生涯スポーツ振興事業の延べ参加者数 各種事業ボランティア等人数 生涯スポーツ振興事業8事業の実行委員・ボランティアの延べ人数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	34	38	3	27	11	27	40.7	57.9	
活動指標 ( 2 )	2 件	33	35	23	35	29	35	82.9		
成果指標 ( 1 )	3 人	3,770	3,040	1,076	2,595	2,151	2,675	82.9		
成果指標 ( 2 )	4 人	601	545	159	310	246	330	79.4		
事業費	5 千円	25,026	30,593	16,950	31,659	18,323	29,584	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症の影響による事業の変更や中止により、令和3年度予算執行率が低くなりました。		
(内) 委託費	7 千円	1,604	1,688	866	1,726	1,097	824			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	7.39	5.80	5.59	6.27	6.54	6.23		
	上記以外の職員	9 人	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	64,426	50,564	47,532	53,314	54,563	51,977		
	上記以外の職員	11 千円	3,080	3,080	3,628	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	92,532	84,237	68,110	84,973	72,886	81,561			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	2,721,529	2,216,763	22,703,333	3,147,148	6,626,000	3,020,778			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	1,875	0	951	0	1,102	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	1,875	0	951	0	1,102	0		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	90,657	84,237	67,159	84,973	71,784	81,561			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 108

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	交流自治体中学生親善野球大会の開催	106	人	4,486
	中学校対抗駅伝の開催	382	人	7,377
	スポーツ推進委員	25	人	2,640
	体育団体活動の奨励	16	件	1,133
	その他 ( わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章等 )			2,687
事業実績	<p>交流自治体中学生親善野球大会は、台湾開催を中止し、台湾と区交流自治体の中学生が意見交換やクイズなどを行うオンライン交流会を実施しました。中学校対抗駅伝大会と重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」(年間6回のうち3回実施)は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催しました。また、スポーツ栄誉顕彰は、栄誉章(11組30人)に加えて、新たに創設した特別栄誉章(3人)を授与しました。その他、体育団体事業の共催29件、後援95件を行い、団体活動を支援しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見(期待・要望・苦情など)	<p>【区民意見調査の推移】</p> <p>健康状態について、健康であると感じている人の割合は、R3の目標値90.0%に対して、H25は85.9%、H29は84.9%、R3は85.5%、成人の週1回以上のスポーツ・運動の実施率は、R3の目標値50%に対して、H25は39.7%、H29は41.9%、R3は60.5%と推移しました。</p> <p>コロナ禍の中、わいわいスポーツ教室の再開を望む声を踏まえて、介助ボランティアの募集は中止したものの、3回の教室を開催し、参加者から喜びの声が届きました。</p> <p>地域スポーツのコーディネーターであるスポーツ推進委員は減少傾向にありますが、事業を支えるボランティアや事業に参加する区民等が徐々に戻りつつあります。</p>
事業の今後(3~5年)の予測と方向性	<p>区民のスポーツ活動は、実践している人としていない人の二極化が一層進むと予測されるため、無関心タイプ、実行間近タイプが気軽に参加できる取組を推進が重要となります。また、地域スポーツ関係団体の活動について、大会等の運営ノウハウの継承が困難な団体の増加が予想されるため、指導者の育成や団体支援への取組を充実していきます。さらに、各種事業には、実行委員の参画やボランティアの参加が欠かせないため、スポーツへの多様な関わりを広げる取組を推進していきます。</p>
計画(目標値)に対する実績(指標の分析等)	<p>成果指標(1)コロナ禍により令和2年度に実施できなかったスポーツ推進委員の地域拠点活動やわいわいスポーツ教室などの事業は、対策を徹底することで一部を実施し、各種事業参加者数等は1,076人から2,151人に増加しました。</p> <p>成果指標(2)は、交流自治体中学生親善野球大会、中学校対抗駅伝大会、オリンピック・パラリンピック普及啓発イベント等に参画した各種事業の実行委員・ボランティア人数は159人から246人に増加しました。</p>
評価と課題	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成を図るこれまでの取組は、障害者のスポーツの推進、ボランティア意識の向上、子どものスポーツ体験の多様化、スポーツを応援する機会の充実など、生涯スポーツ振興事業へ継承するレガシーとなりました。今後も様々なスタイルでスポーツに親しむ区民を増やしていきます。また、地域のコーディネーターとして地域スポーツ活動を支えるスポーツ推進委員の増員が不可欠であるため、各種のボランティア活動の再開に合わせた周知や、すぎなみスポーツアカデミーと連携させることにより、スポーツ推進委員の増員に取り組みます。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>スポーツ推進委員の地域拠点活動や、重度心身障害者スポーツ教室(わいわいスポーツ教室)は、新型コロナウイルス感染症の影響による中止を極力避け、工夫しながら可能な限り実施します。障害の有無に関わらず、様々なスタイルでスポーツに親しむ区民を増やすために、地域の身近な存在として、スポーツ推進委員の増員を着実に進め、区民の自主的・継続的な地域スポーツ活動を推進します。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00533 )

事務事業名称	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成			款	03	項	06	目	01	事業	002	整理番号	109	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係		連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	116				
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 5年度													
令和 3年度担当課名	スポーツ振興課							事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第3、5条 ( 2 ) スポーツ基本法第34条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。	活動指標	教室参加者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が行う「各種スポーツ教室・講座及び各種大会の運営に関する事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ振興のための普及啓発事業」等に必要経費を助成する。	指標名 ( 1 )	教室事業開催数
		指標名 ( 2 )	
		成果指標	運動・スポーツをしていない人の割合
		指標名 ( 1 )	区民意向調査による
		指標名 ( 2 )	利用者満足度
		指標説明	利用者満足度調査

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	58,851	80,000	27,275	80,000	43,160	38,000	54.0	92.8	
活動指標 ( 2 )	2 種目	351	334	280	330	359	213	108.8		
成果指標 ( 1 )	3 %	17.0	16	16.8	15	19.0	15	126.7		
成果指標 ( 2 )	4 %	82.5	85	83.8	85	84.8	0	99.8		
事業費	5 千円	85,054	87,264	73,545	96,935	89,966	118,402	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.30	0.30	0.63	0.50	0.70	0.40		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	2,615	2,615	5,357	4,252	5,840	3,337		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	87,669	89,879	78,902	101,187	95,806	121,739			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	1,490	1,123	2,893	1,265	2,220	3,204			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	87,669	89,879	78,902	101,187	95,806	121,739			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 109

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	運営等補助	1	団体	89,966
	その他（ ）			
事業実績	<p>スポーツ振興財団は、中学校対抗駅伝大会事務局への参画、重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」へのオブザーバー参加など、区との協力体制を強化したほか、障害者向けのリモート教室、サウンドテーブルテニスの実施などの障害者スポーツ・レクリエーションの普及・振興、区民の健康づくりを図るスポーツ教室等（359教室、延べ43,160名参加）実施しました。</p> <p>また、同財団は、令和3年度末で指定管理業務を終了するため、次期事業者へ円滑に引き継ぐとともに、令和4年度の組織体制や事業内容等のあり方を区と共に検討・整理しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>昭和61年10月から、任意団体の杉並区スポーツ振興会が体育施設の管理運営を受託していましたが、平成5年10月に法人化し、財団法人杉並区スポーツ振興財団として引続き体育施設の管理運営を行うとともに、より広範囲な区民のスポーツ活動を支援することになりました。</p> <p>平成18年度の指定管理者制度の導入により、同財団は7施設の指定管理を開始し、平成24年4月からは、より公益性を高めるため公益財団法人に移行しました。さらに、区のスポーツ推進計画の策定にあわせて「スポーツ推進プラン」を策定し、平成26年から、同財団が区のスポーツ推進計画の推進役・実施主体として、地域でのスポーツ振興事業に積極的に取り組んでいます。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>スポーツ振興財団に対しては、中学校対抗駅伝大会、重度障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」など、区からの事業移管を段階的に進めることとしています。また、同財団では、指定管理施設から民間の施設等に活動拠点を移し、地域との連携事業や、団体育成・支援など、区や体育団体等と協力しながら、区民のスポーツ振興に取り組んでいくこととしています。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>令和元年度からは新型コロナウイルス感染症の影響で、施設利用者数や教室参加者数は目標を達成できませんでしたが、コロナ禍において感染症対策を徹底し、安心・安全な施設運営と教室実施により令和元年度の実績の7割程度まで回復することができました。</p> <p>こうした中、利用者満足度については、84.8%と、ほぼ目標値となる高い評価が得られました。</p>
評価と課題	<p>スポーツ振興財団は、新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じた上で、区民等が安全・安心に参加できるスポーツ・レクリエーション、教室を提供し、令和2年度を大きく上回る実績となる事業運営を円滑に行っています。</p> <p>令和4年度には、区から同財団へ「スポーツ始めキャンペーン事業」を移管する予定であり、当事業を含めた財団による地域に根ざした各種のスポーツ活動が円滑に行われるよう区としての支援に努めていきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>区の事業は、スポーツ振興財団へ段階的に移管していく計画ですが、令和5年度は、準備期間として、移管次号の事務局参画など、区との共管により事業の引継ぎを行い、令和6年度以降に、円滑に事業を移管していきます。</p> <p>また、令和5年度の新規事業に関しては、企画検討中のため、現時点では未定です。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00534 )

事務事業名称	スポーツ推進計画				款	03	項	06	目	01	事業	003	整理番号	110	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	施設管理係		連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	117					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	01	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 3年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区民 スポーツ関係団体	根拠法令等 ( 1 ) ( 2 )	スポーツ基本法第9条
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	スポーツ・運動が、区民により身近になることで健康維持に役立ち、さらに地域のつながり・交流に結び付くよう、スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。	活動指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	スポーツアカデミー参加者数  スポーツ始めキャンペーン参加延人数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	スポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」では、従来の5講座のほか、修了者に実践の場を紹介する取組を推進する。日頃、スポーツ・運動を行っていない人に、スポーツに親しむ機会を提供する「スポーツ始めキャンペーン」を実施する。障害者スポーツの推進に向けた取組を行う。総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援を行う。	指標説明 成果指標 指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率 区民意向調査による

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	212	300	437	300	517	300	172.3	89.3	
活動指標 ( 2 )	2 人	983	900	785	900	670	900	74.4		
成果指標 ( 1 )	3 %	58.0	47.5	60.6	50.0	54.8	62.0	109.6		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	5,256	4,469	3,231	8,735	7,796	11,412	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	・令和4年度から、スポーツ始めキャンペーンは、( 公財 ) スポーツ振興財団に移管し、チャレンジアスリートが本事業での取組となりました。		
( 内 ) 委託費	7 千円	4,089	2,841	2,350	7,062	6,644	6,735			
職員数	8 人	1.01	1.00	1.10	1.30	1.80	2.58			
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
人件費	10 千円	8,805	8,718	9,353	11,054	15,017	21,525			
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	14,061	13,187	12,584	19,789	22,813	32,937			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	66,325	43,957	28,796	65,963	44,126	109,790			
財源	受益者負担分	14 千円	158	0	0	0	0			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	2,025	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	2,183	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	11,878	13,187	12,584	19,789	22,813	32,937			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 110

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	すぎなみスポーツアカデミーの運営		5	講座
	スポーツ推進計画の改定			2,943
	スポーツ始めキャンペーンの実施	670	人	782
	健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会	3	回	284
	その他（総合型地域スポーツクラブ研修ほか）			133

事業実績

スポーツ推進計画については、新たな基本構想や総合計画・実行計画の策定、国等の動向、区民アンケート及び障害者を対象としたアンケート結果を踏まえ、計画改定案をまとめました（令和4年3月にパブリックコメントを実施）。  
また、体育施設において新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、すぎなみスポーツアカデミーやスポーツ始めキャンペーンなどを実施したほか、障害者スポーツを推進するため、荻窪体育館の一般使用枠を活用してサウンドテーブルテニスを開始するなどの取組を進めました。

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	健康づくりや仲間づくり、スポーツ・運動を通じた絆のあるまちの実現に向けて、平成25年度に、スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画となる「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定し、平成30年度～令和3年度までの計画に基づいた取組を行っています。 こうした中で、利用者等からは、地域のスポーツ環境の充実、誰もが参加できる事業や利用目的に合った運用方法の見直しなどの要望が寄せられています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	改定後の計画に基づき、重点事業とした障害者スポーツネットワークの推進や学校施設の有効活用などの取組を着実に進め、障害の有無にかかわらず多くの区民がスポーツ・運動に参加する新たな環境を整備するなど、計画目標の実現を目指していきます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	新型コロナウイルス感染症拡大により区民（18歳以上）のスポーツ実施率は高くなっています。しかし、仲間同士で行うスポーツ活動は困難な状況であり、健康のためにスポーツ・運動を始めた人をコロナ収束後に仲間づくりにつないでいく取組が課題です。 地域スポーツに携わる方の学びの場であるスポーツアカデミーは、新型コロナ感染症対策講座やオンデマンド形式の講座を加えながら各種講座を開催し、多くの方が参加しました。スポーツ始めキャンペーンは、事業規模を縮小したため参加者数が減少しました。
評価と課題	令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症防止のための対策を徹底し、すぎなみスポーツアカデミーやスポーツ始めキャンペーンのほか、各施設において様々な事業を実施することができました。 計画の指標達成に向けて、スポーツ振興財団や体育団体、民間スポーツ事業者などとこれまで以上に協力・連携して、区民等が気軽に参加できるスポーツの機会の充実や多様な媒体による情報発信など、スポーツ環境を充実していきます。

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	令和4年度はスポーツ推進計画冊子の印刷経費、障害者施設等への調査委託に関わる予算増がありましたが、令和5年度は障害者スポーツユニバーサルタイムの拡充などに要するコストが増加する見込みです。	



# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00670 )

事務事業名称	次世代トップアスリートの育成			款	03	項	06	目	01	事業	004	整理番号	111	
現担当課名	スポーツ振興課		係名	事業係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	118			
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	臨時事業					
事業開始	平成26年度													
令和 3年度担当課名	スポーツ振興課			事業評価区分							一般			

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	小学生、中学生及び高校生	根拠法令等	( 1 ) ( 2 )	杉並区次世代トップアスリート育成・支援検討会設置要領
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、次世代のトップアスリートを目指す青少年等を地域ぐるみで育成・支援することで、オリンピック・パラリンピック競技大会への気運を高め、地域を活性化するとともに、青少年の健全育成を図る。	活動指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 )	チャレンジアスリート開催回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	オリンピック選手による実技指導、パラリンピック種目体験、スポーツ関係職場見学などを通じて、スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶ「育成プログラムによる環境づくり(チャレンジ・アスリート)」を開催する。	成果指標	指標名 ( 1 ) 指標説明 指標名 ( 2 ) 指標説明	チャレンジ・アスリート参加者数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	4	4	3	4	4	0	100.0	92.8	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3 人	131	120	99	150	157	0	104.7		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	3,507	3,200	2,527	3,800	3,526	0	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	1,719	1,399	1,351	1,648	1,496	0			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.71	0.50	0.62	0.59	0.62	0.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	6,190	4,359	5,272	5,017	5,173	0		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	9,697	7,559	7,799	8,817	8,699	0			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	2,424,250	1,889,750	2,599,667	2,204,250	2,174,750	0			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	800	0	0	0	850	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	800	0	0	0	850	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	8,897	7,559	7,799	8,817	7,849	0			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 111

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	チャレンジ・アスリートの実施	4	回	3,126
	実施報告書の作成	700	部	400
	その他（ ）			
事業実績	<p>多様なスポーツや、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶ、子どもを対象とした「チャレンジ・アスリート事業」について、実技体験教室を3回開催しました。開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているため、定員を減らして2部制で行っています。また、職場見学は、スポーツクラブインストラクターやスポーツ栄養士など、5つのコースを実施し、子どもたちにスポーツに関する仕事を知る機会を提供しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>平成25年9月に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催が決定し、オリンピックに向けた選手育成・強化支援策について検討を始めました。平成26年度に次世代トップアスリート育成・支援検討会において、基礎自治体の役割はスポーツ・エリートの育成ではなく、誰もが参加可能な育成プログラムによる環境づくりを行うこと、将来的に国際大会等への出場支援を検討すること、次世代育成基金の更なる充実を視野に入れることを確認し、平成27年1月から事業化をしました。実技体験教室は、毎回多くの申込みがあり、普段できない体験ができた、コロナ禍で貴重な機会になった、運動が苦手でもできることがあると気づくことができたなどの声がありました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>これまで、多くの申込みがあり、普段はできない多様な体験ができると好評です。今後は、東京2020大会のレガシーとして、改定後のスポーツ推進計画に基づき、子どもたちが持つスポーツの可能性や、自分の将来の夢などを考え、チャレンジすることを支援する事業として、継続します。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>活動指標(1)のチャレンジ・アスリートの参加者数157人のうち、実技体験教室の参加者数は137人でした（令和2年度は実技体験教室2回で81人）。コロナ禍において、子どもたちのスポーツ機会や、他者と関わる多様な体験機会を提供することができました。</p>
評価と課題	<p>令和3年度の「チャレンジ・アスリート事業」について、多様な講師の招へいや馴染みのないスポーツ種目に触れる実技体験や、スポーツに関わる職場見学の実施など、他自治体において類似事業の少ない企画として子どもたちに貴重な体験や学びの機会を提供できました。東京2020大会の開催決定を機に開始した、多様な種目の体験、トップアスリートとのふれあい、スポーツに関する仕事を知ることができるこの取組は、大会のレガシーとして未来の子どもたちへ引き継いでいく重要な事業であるため、今後も継続的な事業として行っていきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>本事業は、令和3年度をもって終了となります。令和4年度以降は、既定事業として「スポーツ推進計画」の事業に位置付け、子どもたちとトップアスリートをつなげるスポーツ体験の場として事業継続していきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00535 )

事務事業名称	体育施設の維持管理	款	03	項	06	目	02	事業	001	整理番号	112	
現担当課名	スポーツ振興課	係名	施設管理係			連絡先電話番号	1676		昨年度整理番号	119		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり					予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和30年度						主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 3年度担当課名	スポーツ振興課					事業評価区分	施設維持管理					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	施設利用者 ( 区民、団体等 )	根拠法令等	( 1 )	スポーツ基本法第2条、12条
			( 2 )	杉並区体育施設等に関する条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。	活動指標	指標名 ( 1 )	延べ利用者数
			指標説明	教室参加者を含む施設の延べ利用者数
			指標名 ( 2 )	
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	運動場12か所、体育館6か所、プール5か所の維持管理を行う。	指標説明		
		成果指標	指標名 ( 1 )	
			指標説明	
			指標名 ( 2 )	
			指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 人	1,439,137	1,570,000	1,023,254	1,200,000	1,356,608	1,500,000	113.1	96.4	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	970,360	1,003,455	949,251	1,033,991	996,325	1,113,188	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
( 内 ) 委託費	7 千円	890,991	902,573	873,831	936,775	919,033	1,036,405			
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	6.72	5.70	7.50	6.00	6.22	4.80		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00		
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	58,585	49,693	63,773	51,018	51,893	40,046		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	3,628	3,675	3,675		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	1,028,945	1,053,148	1,013,024	1,088,637	1,051,893	1,156,909			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	715	671	990	907	775	771			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	11,751	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	9,963	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	21,714	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	1,007,231	1,053,148	1,013,024	1,088,637	1,051,893	1,156,909			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 112

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	管理運営（指定管理者）		9	施設
管理業務委託		5	施設	183,694
上井草スポーツセンター運動場防球ネット改修工事				84,076
高井戸温水プール特定天井安全対策工事				44,228
その他（光熱水費、修繕、備品購入など）				115,858

事業実績

9施設について、令和4年度以降の次期指定管理者を選定し、指定管理者が変更となる施設について事業者間の業務引継ぎを円滑かつ適切に行いました。  
また、各施設においては、安全・安心に施設を利用できるよう、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した運営を行いました。施設整備については、上井草スポーツセンターの運動場防球ネット改修工事などの老朽化対策、高井戸温水プールの特定天井安全対策工事等を実施しました。

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>コロナ禍において、各施設では、国等のガイドラインを踏まえた利用人数の制限や定期的な消毒などの感染症対策の徹底を図りつつ運営し、教室参加者を含む施設利用者は、コロナ前の利用実績の9割程度まで回復しました。</p> <p>今後は、各施設における設備の老朽化や安全面への対応が必要となることから、耐用年数などを考慮しながら、計画的な改修・修繕等を進めていきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	各施設、設備の老朽度に伴う改修の優先度・緊急度を踏まえ、必要な経費を計上していく予定のため。	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00728 )

事務事業名称	オリンピック・パラリンピック教育の推進				款	07	項	01	目	03	事業	021	整理番号	479
現担当課名	済美教育センター		係名	教育指導係		連絡先電話番号	3311-0021			昨年度整理番号	495			
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成28年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	05	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 3年度担当課名	済美教育センター								事業評価区分	一般				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区立小・中学校、子供園、特別支援学校の児童、生徒、園児	根拠法令等	( 1 ) 令和3年度オリンピック・パラリンピック教育推進事業実施要項 ( 2 ) 「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催をまたとない重要な機会と捉え、園児・児童・生徒の良いところをさらに伸ばし、弱みを克服するための取組を推進することで、国際社会に貢献するなど、人生の糧となるようなレガシーを一人ひとりの心と体に残していくことを目的とする。	活動指標	各種オリンピック・パラリンピック教育事業実施校
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針を踏まえ、杉並区教育委員会で定めた「4つのテーマ」( 障害のある人への理解、スポーツ、文化、環境 ) と「4つのアクション」( 学ぶ ( 知る ) 、観る、する ( 体験・交流 ) 、支える ) を組み合わせ、全ての区立学校・子供園での取組への支援を行うことで、オリンピック・パラリンピック教育の推進を図る。	指標説明	各種オリンピック・パラリンピック教育事業を実施する区立小学校、中学校、特別支援学校、子供園の数
		成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
		指標名 ( 1 )	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 校	163	158	158	158	158	0	100.0	56.8
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	10,559	15,300	7,443	11,050	6,280	0	特記事項	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	予算編成時点では、令和3年度の委託金額について、東京都から明示されていないが、令和2年度の実績を基に、1校・園当たり10万円で予算を計上しました。実際に令和3年度に東京都から委託された金額は1校・園当たり5万円であったため、予算執行率が56.8%となっています	
( 内 ) 委託費	7 千円	1,150	1,450	641	1,200	440	0		
職員数	8 人	0.50	0.50	0.37	0.50	0.50	0.00		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	4,359	4,359	3,146	4,252	4,172	0		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	14,918	19,659	10,589	15,302	10,452	0		
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	91,521	124,424	67,019	96,848	66,152	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	10,555	13,950	7,433	10,300	6,280		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	10,555	13,950	7,433	10,300	6,280	0	
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	4,363	5,709	3,156	5,002	4,172	0		
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 479

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	小学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進		40	校
	中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	23	校	962
	子供園におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	6	園	281
	特別支援学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進	1	校	49
	その他（パラリンピック競技応援校）			908
事業実績	<p>東京都からの委託金（1校・園当たり5万円）を活用し、全区立学校・子供園が教育課程の中にオリンピック・パラリンピック教育を位置付け、オリンピック等のアスリート、スポーツ指導者との直接的な交流、パラリンピック競技体験や外国人との交流などを通して、ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚の5つの資質の育成に取り組みました。また、東京都からパラリンピック競技応援校としての指定を受けた学校において、学校単位で取組を行い、成果を他校に普及、啓発しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>東京都からの1校・園当たりの委託金額は、平成28年度に30万円で開始し、平成29年度は25万円、平成30年度は20万円、令和元年度は15万円、令和2年度は10万円、令和3年度は5万円となり、令和4年度には一部を残して事業が終了となりました。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、学校の教育活動を充実させる好機であったため、体験的な活動や外部講師との連携による教育活動により教育の質の向上につながったとの声が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は終了しましたが、これまでの取組の中からレガシーとして継続する教育活動についての支援方法を検討し、共生・共助社会の形成を担う子供たちを育成していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>計画のとおり、全区立学校・子供園がオリンピック・パラリンピック推進事業を実施しました。（教育推進事業、世界ともだちプロジェクト）。また、教育アワード校事業（地域連携型）、文化プログラム・学校連携事業（地域連携型）、夢・未来プロジェクト、パラリンピック競技応援校事業に決定した学校は、それぞれの事業に即した取組を行い、成果を他校に普及、啓発しています。</p>
評価と課題	<p>全区立学校・子供園において、オリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組み、共生社会形成の担い手として必要な資質の育成を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、アスリート等との交流や競技観戦等の体験機会を確保することができました。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は終了しましたが、本教育の趣旨を受け継ぐ取組をレガシーとして継続・発展させ、共生・共助社会の形成を担う子供たちを引き続き育成していきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	<p>東京都による事業実施期間は、令和3年度までとなっており、令和4年度以降は事業の一部を残して終了となりました。これまでの取組の中からレガシーとして継続する教育活動について、他の事業との組合せなどをより一層工夫し、支援していきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00517 )

事務事業名称	社会教育委員	款	07	項	04	目	01	事業	001	整理番号	502
現担当課名	生涯学習推進課	係名	管理係			連絡先電話番号	1663		昨年度整理番号	522	
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度										
令和 3年度担当課名	生涯学習推進課	事業評価区分	一般								

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	社会教育関係施設及び社会教育関係団体・指導者等区民	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第15～18条 ( 2 ) 杉並区社会教育委員の設置に関する条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育関係団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。	活動指標	会議開催回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者等合計9名以内で構成し (任期2年)、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要に応じ教育委員会に対して答申や提言などを行う。	指標名 ( 1 )	延べ会議出席委員数
		指標説明	
		成果指標	NPO法人認証団体数
		指標名 ( 1 )	「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるNPO法人認証団体数
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	6	6	5	6	5	6	83.3	74.6
活動指標 ( 2 )	2 人	41	54	43	54	44	54	81.5	
成果指標 ( 1 )	3 団体	324	350	323	350	317	350	90.6	
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	911	934	828	1,046	780	972	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	会議はオンラインを含めて実施しましたが、予定した事業の視察が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、1 回分の委員報酬が執行残となりました。	
(内) 委託費	7 千円	312	282	279	356	219	282		
職員数	8 人	1.30	1.40	1.20	1.50	1.50	1.50		
上記以外の職員	9 人	0.80	0.80	0.70	0.80	0.90	0.90		
人件費	10 千円	11,333	12,205	10,204	9,519	9,471	9,471		
上記以外の職員	11 千円	2,464	2,464	2,540	2,902	3,308	3,308		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	14,708	15,603	13,572	13,467	13,559	13,751		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	2,451,333	2,600,500	2,714,400	2,244,500	2,711,800	2,291,833		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	14,708	15,603	13,572	13,467	13,559	13,751		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 502

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	社会教育委員報酬の支出 ( 延べ人数 )	44	人	541
	社会教育委員の会議録作成委託	8	時間	201
	資料等の郵送、消耗品の購入			38
	その他 ( )			
事業実績	<p>令和3年7月に実施した第17期社会教育委員の会議においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いオンラインを併用する会議として開催しています。新たに策定した基本構想やその基で検討中の総合計画・実行計画にかかる将来像や取組の方向性を踏まえ、教育ビジョン2022につながるこれからの社会教育の検討を行いました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>社会教育委員の会議は、平成2年度の制度発足以来、17期目を迎えました。これまで区民の生涯学習・社会教育を推進するため、環境の整備や社会教育関係団体等の活動支援などについて、区社会教育行政に提言や答申をしたり、「杉並区教育ビジョン2012・同推進計画」等を踏まえ、新たな「杉並区教育ビジョン2022・同推進計画」の検討に社会教育分野から意見を述べるなど、生涯学習社会の実現に役割を果たしてきました。</p> <p>社会教育活動に関わる区内NPO法人数 H15.3.31 104 R4.3.31 317</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>区民が適切に対応しながら学び続ける環境が一定の範囲で整い、区民による多様な学び合いが広がるよう、新たな基本構想や教育ビジョンと共に策定する総合計画や教育ビジョン2022推進計画に基づく、区民の学び支援に関わる区の取組を展開していきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>区内NPO法人認証団体数の推移を「社会教育の推進」に關与する成果指標としていますが、令和3年度は、コロナ禍の影響が実績にも表れています。こうした団体活動が抱える課題の把握や区民の学びを支えるためにも、会議では、オンラインを併用して社会教育委員が独自に調査・研究し、提言等も行えるように各回の運営を工夫し実施回数を維持しました。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症が生涯学習・社会教育に与える影響は大きく、事業の進捗状況や対応等の報告に対する意見を聞きながら、区民の学びを支える各種事業を進めました。こうしたことを検証しつつ、基本構想や教育振興基本計画に基づく、生涯学習・社会教育を取り巻く環境の変化に応じたさらなる区民の学び支援の検討につなげます。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 ) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>令和3年6月の委嘱替えにより新たに発足した社会教育委員の会議では、基本構想や教育ビジョン2022に基づく生涯学習・社会教育に関する方向性や、新型コロナウイルス感染症への対応に配慮しつつ可能な生涯学習・社会教育の展開について、必要な意見を求めていきます。</p>	



# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00519 )

事務事業名称	社会教育の振興	款	07	項	04	目	01	事業	003	整理番号	503	
現担当課名	生涯学習推進課	係名	管理係			連絡先電話番号	1662		昨年度整理番号	524		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり					予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成 8年度											
令和 3年度担当課名	生涯学習推進課					事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	社会教育活動を行う個人及び団体	根拠法令等	( 1 ) 杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱 ( 2 ) 杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の生涯学習活動の活性化と、社会教育関係団体の活動を支援するとともに、区内の高等教育機関と行政や地域との連携協働を推進する。 次世代を担う子どもが、名寄市での自然交流体験を通して、健やかに成長することができるように支援する。	活動指標	生涯学習指導者傷害保険加入指導者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	教育委員会後援等名義使用承認により、社会教育関係団体の活動を支援する。 区と区内高等教育機関 (明治大学・高千穂大学・女子美術大学・東京立正短期大学・東京女子大学) との包括協定に基づき、連携協働を推進する。 生涯学習活動指導者傷害保険への加入促進により、団体指導者等の活動を支援する。 小学生名寄自然体験交流事業として、小学5・6年生を北海道名寄市に派遣する。	指標説明	大学連携協働推進協議会等開催回数
		成果指標	指導者傷害保険加入団体会員数
		指標説明	後援等名義使用承認事業数

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 人	3,305	4,000	3,180	4,000	2,934	4,000	73.4	50.4
活動指標 ( 2 )	2 件	3	5	1	5	2	5	40.0	
成果指標 ( 1 )	3 人	57,174	70,000	57,683	70,000	52,752	70,000	75.4	
成果指標 ( 2 )	4 件	144	150	64	150	90	150	60.0	
事業費	5 千円	4,798	6,499	3,924	7,075	3,563	7,665	特記事項 新型コロナウイルス感染症対策で、小学生名寄自然体験交流事業の規模を縮小して実施しました。	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
( 内 ) 委託費	7 千円	2,094	3,727	2,362	3,821	1,535	4,304		
職員数	8 人	1.84	1.90	1.70	1.80	1.84	1.90		
上記以外の職員	9 人	0.80	0.90	1.00	0.80	0.80	0.80		
人件費	10 千円	16,041	16,564	14,455	14,946	15,013	15,513		
上記以外の職員	11 千円	2,464	2,772	3,628	2,902	2,940	2,940		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	23,303	25,835	22,007	24,923	21,516	26,118		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	7,051	6,459	6,920	6,231	7,333	6,530		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	23,303	25,835	22,007	24,923	21,516	26,118		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 503

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	小学生名寄自然体験交流の実施	15	人	2,401
	生涯学習活動を行う指導者を対象とした傷害保険料の支出	2,934	人	514
	その他 ( 通知等の郵送・消耗品の購入 )			648
事業実績	<p>小学生名寄自然体験交流事業は、新型コロナウイルス感染症対策で規模を縮小し、派遣児童を15名とし、全員PCR検査を行い派遣しました。また、後援等名義使用承認は、事業計画書に感染症対策の記入を必須として受け付けました。事業を中止する団体があり、申請数は前年度比で増加したものの90件でした。大学連携は、保健予防課の「自殺対策事業」である「ゲートキーパー養成研修」のオンライン開催を支援し、学生の悩みや相談に対応する教職員92名の参加につなげました。夏休み情報カレンダーは、感染症対策のもと実施する夏休みイベントを一覧で発行しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>名寄自然体験交流事業を平成24年度より開始し、5,6年生25名を名寄市に派遣しています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策で15名に減らして派遣しました。</p> <p>生涯学習活動の指導者傷害保険契約人数 ( 稼動人数/日 ) H28 : 78団体3,668人、H29:79団体3,500人、H30:76団体3,407人、R元 : 74団体3,305人、R2:69団体3,180人、R3:64団体2,934人 )</p> <p>後援等名義使用承認件数 H28:155件、H29:158件、H30:143件、R元:144件、R2:64件、R3:90件。</p> <p>大学連携「杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会」開催延回数 H28:3回、H29:3回、H30:4回、R元:3回、R2:1回、R3:2回。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症により多くの事業に影響が出ましたが、名寄自然体験交流事業は、引き続き感染症対策を徹底し実施していきます。</p> <p>指導者傷害保険や後援等名義使用承認は、区民の地域活動等が感染症蔓延以前の状態に戻るか予測が難しい状況です。しっかりと動向を把握して、適切に対応していきます。</p> <p>大学連携は、各大学の状況や学生の生活・学習環境について、区内大学と情報を共有し、変化に応じた連携の方向性を確認していきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>指導者傷害保険加入団体会員数や加入指導者数は、高齢化により団体や会員数の減少傾向にあることに加え、新型コロナウイルス感染症で活動を一時中止する団体もあり、加入者数が減少しました。後援等名義使用承認は、目標値は下回るものの、令和2年度と比べ、感染症対策を実施しながら事業を行う団体が増えています。</p> <p>大学連携は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見ながら、対面とオンラインで2回協議会を開催しました。</p> <p>名寄自然体験交流事業は、派遣児童を15名と規模を縮小し、全員PCR検査を行うなど新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い実施しました。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症は、様々な事業に影響を与え、活動指標や成果指標が計画 ( 目標値 ) に届きませんでした。</p> <p>後援等名義使用承認や指導者保険は、所属団体等が活動を一時的に休止するケースが見られました。後援等名義使用承認では、安全対策の相談・指導など、再開に必要な支援を進めます。</p> <p>大学連携は、協議会を通じて各大学の情報を共有し、区民生活や地域課題解決に向けた今後の連携について検討していきます。</p> <p>名寄自然体験交流事業は、感染状況を見極めながら、安全に実施するための規模や方法等について引き続き検討し取り組んでいきます。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>新型コロナウイルス感染症の影響がどの程度の期間続くか、まだ不透明な状況ですが、各事業の活動状況の変化に対応できるように、現状予算で事業を継続します。</p> <p>指導者傷害保険は、新型コロナウイルス感染症により一部で活動を休止している団体もあり、指導者数は微減傾向ですが、現状予算で動向を見守っていきます。</p> <p>大学連携は、各大学の状況や学生生活、学習環境の情報を共有して事業内容を判断していきます。</p> <p>名寄自然体験交流事業は、引き続き次世代育成基金を活用し実施していきます。感染症対策を行ったうえで、児童25名の派遣を予定しています。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00520 )

事務事業名称	学校開放施設の団体・区民利用等			款	07	項	04	目	01	事業	004	整理番号	504
現担当課名	学校支援課		係名	学校開放担当係			連絡先電話番号	1646		昨年度整理番号	525		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和58年度												
令和 3年度担当課名	学校支援課							事業評価区分	一般				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内在住・在勤・在学者	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第44、45、47、48条 ( 2 ) スポーツ振興法第13条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	学校施設を区民のスポーツ・文化活動や遊び、憩いの場として有効に活用するとともに、区民の自主的活動を支援し、学校を中心とした地域のコミュニティ意識の高揚を図る。	活動指標	学校開放延開放回数(遊びと憩いの場・登録団体・プール)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	「遊びと憩いの場」として、一部の小学校の校庭を、水、土、日曜日、祝日、学校休業日(年末年始を除く。)の決められた時間に、児童及び幼児、高齢者に開放する。 スポーツ・文化活動の場として、児童及び生徒が使用していない時間に、小・中学校の校庭(杉十小学校を除く。)・体育館・教室を、登録した団体に開放する。 身近に利用できる遊泳場として、一部の小・中学校のプールを夏休みの一定期間に開放する。	指標名 ( 1 )	学校開放登録者総数
		指標説明	
		成果指標	遊びと憩いの場延べ利用者数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	登録団体延べ利用者数
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	30,275	30,000	19,549	30,000	30,622	37,550	102.1	89.3	
活動指標 ( 2 )	2 人	15,176	17,000	15,215	23,000	15,566	23,000	67.7		
成果指標 ( 1 )	3 人	77,802	77,000	54,469	77,000	53,588	77,000	69.6		
成果指標 ( 2 )	4 人	700,550	700,000	463,586	700,000	745,886	800,000	106.6		
事業費	5 千円	80,245	96,350	65,341	120,206	107,352	116,840	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	84	0	0	0	0	0	令和3年度の事業費の増は、馬橋小学校の防球ネット設置工事19,173千円、学校施設の有効活用に向けたモデル事業の5,614千円によるものです。		
(内) 委託費	7 千円	30,832	35,088	24,649	56,896	49,907	53,745			
職員数	8 人	3.84	4.00	4.43	4.00	5.02	3.98			
上記以外の職員	9 人	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00			
人件費	10 千円	33,477	30,652	33,642	30,417	34,509	26,441			
上記以外の職員	11 千円	3,080	0	0	0	0	3,675			
総事業費 (5+10+11)	12 千円	116,802	127,002	98,983	150,623	141,861	146,956			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	3,855	4,233	5,063	5,021	4,633	3,914			
財源	受益者負担分	14 千円	14,198	14,000	9,434	14,520	14,461			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	1,097	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	14,198	14,000	10,531	14,520	14,461	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	102,604	113,002	88,452	136,103	127,400	146,956			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	12.2	11.0	9.5	9.6	10.2	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 504

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	学校開放指導員謝礼の支出	27	校	12,109
	学校開放に伴う光熱水費の支出	63	校	31,412
	プール開放運営委託	3	校	11,685
	学校施設維持管理			17,357
	その他 ( 備品購入費・補助金ほか )			34,789
事業実績	<p>前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に注意を払いながら、学校開放事業を実施しました。</p> <p>また、夏季休業期間中の学校プール開放についても、感染症対策や入場制限を行ったうえで、合計3校で実施し、延べ45日間で2,648名の利用がありました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>学校開放が現在とほぼ同様の仕組みとなったのは、昭和61年度からです。区民のスポーツ・文化活動が活発化し、活動の場を求める声が高まっていることから、学校開放の役割は増々重要なものとなり、利用機会の更なる確保が求められています。</p> <p>今後も区民のスポーツ・文化活動のニーズは高まっていくものと予測しており、さらなる学校施設の有効活用が求められています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>令和4年4月から実施している、高円寺学園の学校開放事業に学校施設予約システムを試行的に導入したモデル事業の検証等を踏まえ、他の学校への展開も含めて、さらなる学校施設の有効活用を図っていきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>小学生の放課後等居場所事業の拡充に伴い「遊びと憩いの場」開放の実施校が減少したため、延べ利用者数も減少しています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度には学校開放利用者の総数が減少しましたが、令和3年度は、ワクチン接種の進展や新しい生活様式・行動様式の定着等により、利用者数はコロナ禍以前の水準にまで回復し、計画 ( 目標値 ) を達成しています。</p>
評価と課題	<p>利用者数は、ワクチン接種の進展や新しい生活様式・行動様式の定着等により、概ねコロナ禍以前の水準に回復しました。</p> <p>また、スポーツ・文化活動の場を希求する区民は今後も増加すると考えられることから、令和4年4月より始まった学校施設予約システムを用いたモデル事業を検証し、学校施設の有効活用に向け、多くの区民が利用しやすい環境を整えるため、従来の利用方法の見直しなどを含めて、これからの学校開放事業のあり方を検討していく必要があります。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 ) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>高円寺学園におけるモデル事業の検証結果等を踏まえ、新たに改築された学校施設や空調が完備された屋内運動場を中心に、区民のスポーツ・文化活動の受け皿の確保、利用の拡大に向けた取組を進めます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00521 )

事務事業名称	文化財調査・保護	款	07	項	04	目	01	事業	005	整理番号	505	
現担当課名	生涯学習推進課	係名	文化財係				連絡先電話番号	1666	昨年度整理番号	526		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和57年度											
令和 3年度担当課名	生涯学習推進課						事業評価区分	一般				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般	根拠法令等 ( 1 ) 文化財保護法 ( 2 ) 杉並区文化財保護条例
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	区内の文化財を保護する。 文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できるようにする。	活動指標 指標名 ( 1 ) 埋蔵文化財窓口照会件数 指標説明 指標名 ( 2 ) 杉並区文化財指定登録総件数 指標説明
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	文化財調査を進め、必要と認められたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存する。また、刊行物や案内標示板等を媒体として、情報提供を進める。さらには区内団体などと協働し、文化財の公開・活用に努める。埋蔵文化財の適切な保護・保存を図るため、発掘調査を実施する。国の史跡指定を受けた荻外荘の歴史的価値を限定公開や講演会開催等で広く区民等に周知する。近衛文麿関係資料等の定期的な調査を継続実施する。	成果指標 指標名 ( 1 ) 埋蔵文化財調査延べ日数 指標説明 指標名 ( 2 ) 杉並区文化財保護奨励金の交付件数 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 件	4,182	3,500	3,464	3,500	3,452	3,500	98.6	87.6	
活動指標 ( 2 )	2 件	149	150	150	151	150	151	99.3		
成果指標 ( 1 )	3 日	330	320	268	300	304	300	101.3		
成果指標 ( 2 )	4 件	115	115	112	112	111	111	99.1		
事業費	5 千円	10,846	20,500	17,703	12,435	10,893	17,719	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	92	50	0	60	59	60	令和3年度は、令和2年度のような大規模な埋蔵文化財調査がなかったため、例年通りに事業費が戻りました。		
( 内 ) 委託費	7 千円	4,248	12,466	11,082	5,211	4,985	9,413	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、共催事業の杉並郷土芸能大会が中止になったため、分担金40万円が未執行になりました。		
職員数	8 人	3.05	3.00	3.11	3.00	3.08	3.00	文化財保護ボランティアの活動も同様の理由により、縮小したため、報償費20万円が未執行になりました。		
	9 人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00			
人件費	10 千円	22,243	21,934	22,669	21,914	22,112	21,647			
	11 千円	15,400	15,400	18,140	18,140	18,375	18,375			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	48,489	57,834	58,512	52,489	51,380	57,741			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	11,573	16,510	16,891	14,980	14,867	16,480			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0			
	国からの補助金等	15 千円	1,805	4,424	3,864	2,000	1,700	1,800		
	都からの補助金等	16 千円	902	2,212	1,932	1,000	850	900		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	2,707	6,636	5,796	3,000	2,550	2,700		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	45,782	51,198	52,716	49,489	48,830	55,041			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 505

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	埋蔵文化財調査委託	6	件	3,792
	指定登録文化財保護奨励	111	件	1,730
	文化財案内標示板等作成・修理	9	基	1,804
	指定候補等調査委託	2	件	420
	その他（文化財保護審議会の運営、文化財ボランティア活動、刊行物発行他）			3,147
事業実績	<p>陽明文庫所蔵の荻外荘関係資料について、陽明文庫と共同で年3回調査しました。 令和元年度に文化財に指定した「入澤達吉関係資料（日記類）」47点に、書簡類8897点を追加し、「入澤達吉関係資料」（8944点）として追加指定しました。 すぎなみ地域大学で文化財保護ボランティア養成講座を開講し、13名の新規文化財保護ボランティアが誕生しました。 杉並区史跡散歩地図に区制施行90周年記念の5ストーリーズを加えた内容で作成しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>文化財散歩等を趣味にする方の声に応えるために昭和58年から発行している「杉並区史跡散歩地図」は好評です。また、経年劣化している文化財案内標示板の建て替えが定期的に一定数必要となっています。</p> <p>文化財に対する興味・関心は高く、文化財部門に対する要望も多様化・複雑化し、文化財の利活用も求められています。</p> <p>また、日本政治史上重要な場所として平成28年3月国の史跡に指定された荻外荘の復原整備工事を令和6年度12月公開に向け、令和4年度から開始します。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>荻外荘の復原整備工事は令和4年度に着手し、令和6年10月に工事完了し、12月に一般公開する予定です。工事と連携して、令和6年12月に設置完了の予定で、展示物及び展示設備の製作業務を進めます。工事に伴い、4年度は荻外荘の遺構調査、収蔵資料の移転、公開時に展示する資料の軸装及び展示資料の修復、陽明文庫との共同調査の中で陽明文庫の映像資料制作委託を行う予定です。</p> <p>指定文化財について、全件調査した結果、今年度は有形文化財（絵画）について、補助金を支出し、修復します。</p> <p>指定天然記念物のクロマツについては、保存目的で、区の補助金を支出し、樹木の上部を一部伐採する予定ですが、今後の生育を見守っていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>埋蔵文化財の窓口照会件数は、経済状況等に左右され、窓口照会件数に比例して調査延べ日数も変化します。調査延べ日数については、荻外荘の遺構調査や阿佐ヶ谷ヶやき屋敷等の本調査があったものの新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度は回復基調にありますが、令和元年度よりは減少しました。</p> <p>文化財の指定登録総件数については、1年に1件以上の指定登録を目標にしており、令和3年度は1件指定することができました。</p> <p>文化財保護奨励金については、区への寄贈の増加もあり、奨励金の交付件数は横ばいです。</p>
評価と課題	<p>埋蔵文化財の保管場所については前年同様に安定的な保管場所の確保に向けて検討を行っていきます。荻外荘収蔵資料は区指定文化財でもあり、復原整備工事期間中、既存の空施設にセキュリティを強化した保管を行っていきます。文化財保護法の改正に伴う、「文化財保存活用地域計画」の策定について、引き続き、東京都の動向を注視していきます。</p> <p>昨年度、新規文化財保護ボランティアが誕生したので、その育成に努めます。</p> <p>荻外荘については引き続き他部署と連携して復原整備に向けた取組を推進するとともに機運醸成を図ります。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>荻外荘の保存・整備・活用について、他部門と連携を強化し、令和4年度から着手する整備復原工事を補完するとともに、文化財部門で担当している展示物及び展示設備製作業務も令和4年度に委託が開始するため、進捗状況を管理していきます。</p> <p>昨年度、養成した文化財保護ボランティアが継続的な活動を進めていけるよう、研修会の実施や情報提供、活動の機会の提供に努めていきます。</p> <p>昨年度、区指定登録文化財の区所有以外の所有者全件調査を実施しましたが、今年度は区所有の区指定登録文化財の保存状況調査を行い、状況把握をしつつ必要な文化財は修復していきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00527 )

事務事業名称	郷土博物館の運営管理			款	07	項	04	目	01	事業	011	整理番号	507
現担当課名	生涯学習推進課		係名	郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	532		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度							主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )					
令和 3年度担当課名	生涯学習推進課						事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	一般区民、自主活動団体等	根拠法令等	( 1 ) 博物館法 ( 2 ) 杉並区立郷土博物館条例	
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究等を行い、展示等の事業を通じて、広く杉並の歴史文化を紹介するとともに、区民の郷土に対する理解を高め、愛着心の向上を図る。	活動指標	企画展・講座・教室等事業実施回数	
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	資料の収集・保管、調査・研究、寄贈・寄託を行う。展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事を実施する。学校教育等への支援・連携を行う。研究紀要等を発行する。	指標名 ( 1 )	収蔵資料総数	
		指標説明		
		指標名 ( 2 )	観覧者数	
		成果指標		
		指標名 ( 1 )		本館及び分館の観覧者数の合計
		指標説明		
		指標名 ( 2 )	アンケート結果	
		指標説明	満足を3、普通を2、不満を1とした平均点	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 回	53	50	29	50	26	50	52.0	86.2	
活動指標 ( 2 )	2 点	144,017	144,300	146,051	147,000	147,112	147,500	100.1		
成果指標 ( 1 )	3 人	31,953	32,000	23,445	30,000	27,744	30,000	92.5		
成果指標 ( 2 )	4 点	2.7	3.0	2.8	3.0	2.7	3.0	90.0		
事業費	5 千円	12,371	12,724	9,260	12,140	10,469	13,255	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	201	0	330	0	0	0	○執行率については、臨時休館をとまなうBCP発動による企画展の中止による事業費の残等による。		
( 内 ) 委託費	7 千円	4,085	3,795	2,531	3,315	2,948	4,625			
職員数	8 人	5.15	5.00	6.19	4.00	4.09	3.00			
上記以外の職員	9 人	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	10.00			
人件費	10 千円	31,985	30,930	45,263	26,822	27,190	25,029			
上記以外の職員	11 千円	27,720	27,720	32,652	32,652	33,075	36,750			
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	72,076	71,374	87,175	71,614	70,734	75,034			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	1,356,132	1,427,480	2,994,655	1,432,280	2,720,538	1,500,680			
財源	受益者負担分	14 千円	1,913	2,212	1,198	0	0			0
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	1,913	2,212	1,198	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	70,163	69,162	85,977	71,614	70,734	75,034			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	2.7	3.1	1.4	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 507

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	特別展・企画展・講座・教室等の開催	26	回	8,070
	郷土博物館運営協議会の開催	3	回	296
	博物館事業の運営管理	2	所	2,103
	その他 ( )			
事業実績	<p>令和3年10月に「棟方志功サミット in 杉並」を記念した特別展を、本館と分館で同時開催しました。棟方志功の作品や、創作の舞台となった「荻窪の家」や挿絵・装幀などの「本の仕事」等に目し、棟方と杉並の関わりについて展示を行いました。そのほか、企画展や収蔵資料展など、本館と分館を合わせて7回の展覧会を開催しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、杉並保健所への職員の応援体制を強化するため、業務継続計画を発動し、令和4年1月下旬から3月下旬にかけての2か月間、臨時休館を行いました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>平成元年5月に大宮一丁目に開館しました。 平成19年4月には天沼三丁目に分館が開館しました。 平成27年3月には本館の常設展示をリニューアルしました。 令和元年5月には郷土博物館開館30周年を迎えました。 令和2年10月には本館の新常設展「昭和のくらし」がオープンしたほか、特別展示室のケース照明をLED化しました。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>令和4年には、区制施行90周年を記念した特別展を実施し、これまでに収集した資料だけでなく、新たに収集した資料の公開を予定しています。郷土博物館では、区のこれまでの調査研究を継承しつつ、来るべき区制施行100周年を見据え、新たな区史の編纂に向けた歴史資料の収集や展示を通じた情報発信を行います。 博物館に求められている歴史資料の継承のためには、安定的な収集・保存が不可欠なため、収蔵スペースの確保や保存方法を検討していきます。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>企画展・講座・教室等事業実施回数は、新型コロナウイルス感染症の影響により25回となり、目標値の50回には届きませんでした。 収蔵資料総数は、主に歴史資料や文学資料の寄贈により147,112点となり目標値の147,000点を超えて、収蔵数を伸ばしました。収納スペースの確保に努めつつ、貴重な資料は着実に収集しています。 観覧者数は、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により開館日数減のため、3万人を下回っていますが、総入館者数を開館日数で割った平均入場者数では、令和元年度と同水準の実績を維持しています。 アンケート結果は、満足度に対して概ね高い評価を受けています。</p>
評価と課題	<p>区民に、杉並の歴史と文化を知る機会の提供と郷土への愛着心を高めてもらうため、様々な博物館活動を行いました。令和3年度観覧者数は、12月までは特別展や企画展で堅調な数で推移し、2か月間の臨時休館により、観覧者総数は3万人を下回ったものの、令和2年度を上回りました。観覧者からは展示内容等について高い評価を受けています。 14万点を超えた収蔵資料について、適宜点検及び調査を行い、展示などに有効活用していくことができるよう取り組んでいきます。また、安定的な収集・保存を見据えた、収蔵スペースの確保や保存方法の見直しに取り組んでいきます。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>区制施行100周年を見据え、次世代への歴史・文化の継承の観点で踏まえ、向こう5年程度を見通した中期的な特別・企画展プランを策定し、十分な調査・研究期間を確保するとともに、資料の収集と展覧会の開催に必要な予算も確保し、区民の興味や関心に応えていきます。 また、安定的な収集・保存が行えるように、場所の確保を行います。</p>	



# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00528 )

事務事業名称	図書館運営	款	07	項	04	目	01	事業	012	整理番号	508	
現担当課名	中央図書館	係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	533		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和25年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	02	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )			
令和 3年度担当課名	中央図書館						事業評価区分	一般				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	図書館利用者及び団体 ( 学校、保育園、ゆうゆう館など )	根拠法令等	( 1 ) 図書館法 ( 2 ) 子どもの読書活動の推進に関する法律
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	誰もが学び続け、その成果を活かせる地域づくりを進めるため、本と親しめる環境を整備するとともに図書館利用の促進を図ることにより、区民の生涯にわたる学習と自立を支援していく。	活動指標	蔵書数 個人貸出冊数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	区民の課題解決や生涯学習を支援するため、レファレンスサービスの充実やデータベースの活用などを行う。 図書館システムの運用、インターネットパソコンによる情報発信及び情報提供を行う。 図書資料の選定、収集、保存及び廃棄を行う。 図書館資料の利用案内を行う。 乳幼児から高齢者まで幅広い世代への読書機会の提供と読書環境の充実を図る。	指標説明	蔵書1冊当たりの貸出回転数 個人貸出冊数 ÷ 蔵書数 区民1人当たりの年間貸出冊数 個人貸出冊数 ÷ 杉並区の人口

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 冊	2,118,447	2,010,000	2,092,868	2,010,000	2,088,517	2,010,000	103.9	98.8	
活動指標 ( 2 )	2 冊	4,124,506	4,900,000	3,770,200	4,900,000	4,851,359	4,900,000	99.0		
成果指標 ( 1 )	3 回転	1.95	2.44	1.80	2.44	2.32	2.44	95.1		
成果指標 ( 2 )	4 冊	7.16	8.51	6.58	8.52	8.50	8.58	99.8		
事業費	5 千円	895,031	1,160,085	1,123,600	1,084,148	1,071,056	1,115,139	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	指定管理館9館 債務負担行為 ( 総額 ) : 2,814,000千円		
( 内 ) 委託費	7 千円	677,052	868,544	844,578	852,870	847,388	883,798	設定期間 令和2年度~令和6年度 南荻窪、下井草、今川 図書館		
職員数	常勤職員数 ( 再任用含 )	8 人	74.69	69.00	72.07	68.00	71.30	67.00	令和3年度~令和5年度 永福図書館	
	上記以外の職員	9 人	15.00	20.00	19.00	21.00	21.00	20.00	令和3年度~令和6年度 宮前、高井戸、成田、 佐谷、方南図書館	
人件費	常勤職員分 ( 再任用含 )	10 千円	569,913	525,582	547,526	502,709	523,834	481,195		
	上記以外の職員	11 千円	46,200	61,600	68,932	76,188	77,175	73,500		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	1,511,144	1,747,267	1,740,058	1,663,045	1,672,065	1,669,834			
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	713	869	831	827	801	831			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 ( 12-18 )	19 千円	1,511,144	1,747,267	1,740,058	1,663,045	1,672,065	1,669,834			
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 508

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	管理運営（指定管理者）	9	館	663,693
	図書館サービス業務委託	1	館	98,978
	図書館資料購入・装備	13	館	143,415
	図書館システム管理（図書サービスコーナー等含む）	17	施設	59,640
	その他（情報環境の提供、ブックスタート、子ども読書活動推進ほか）			105,330
事業実績	<p>令和3年4月に永福図書館を新たにコミュニティふらっと永福との複合施設として開館しました。図書館全体では、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら図書館サービスを継続しましたが、令和4年1月から約2か月間、杉並保健所への職員の応援体制を強化するため、業務継続計画を発動し、地域図書館3館を臨時休館しました。</p> <p>また、「杉並区子ども読書活動推進計画(令和4年度～6年度)」の改定に向けて、杉並区立図書館協議会及び杉並区子ども読書活動推進懇談会の意見等を踏まえ計画改定案をまとめました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>昭和25年に区立図書館を設置し、現在は昭和63年の長期計画で定めた14館構想（1地域2館構想）に基づく整備を進め、中央図書館を核とした13館で図書館運営を行っています。平成17年度から運営に業務委託や指定管理者制度を段階的に取り入れ、現在は13館中10館が民間事業者による運営（一部業務委託を含む）となっています。昭和59年度には図書館コンピュータシステムを導入、平成13年度には図書館ホームページを開設し、その後もシステム更新を行いながら区民が利用しやすい資料の検索・予約・貸出の仕組みづくりを進めています。また、施設の老朽化に伴い、令和元年から令和2年に中央図書館の大規模改修、令和3年に永福図書館の移転改築を行いました。区民からは、コロナ禍での開館継続や自動貸出機等の非接触型サービスへの要望が寄せられました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和4年度に改定した「杉並区子ども読書活動推進計画」に基づき、乳幼児から中・高校生世代の図書館利用や読書活動への取組を学校等の関係機関と連携しながら進めるとともに、令和4年度に改定する「杉並区立図書館サービス基本方針」に描かれた図書館像の実現に向けて、実行計画・杉並区教育ビジョン2022推進計画等の各種計画に基づく事業を着実に実施していきます。特に、ICTタグシステムの導入は、業務の効率化と利用者に対する利便性の向上が図られます。</p> <p>また、施設再編整備計画に基づき、高円寺図書館はコミュニティふらっととの複合化による移転改築、宮前図書館は中学校との複合化による移転改築に取り組んでいきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>新型コロナウイルス感染症拡大による区の業務継続計画の発動により、令和4年1月から2か月間、地域図書館3館を臨時休館しましたが、成果指標である蔵書1冊あたりの貸出回転数（0.5冊増）や区民1人当たり年間貸出（2冊増）の実績は前年度を大きく上回りました。これは令和2年9月にリニューアルオープンした中央図書館の利用実績が増加したことや新たに令和3年4月にオープンした永福図書館の開館が要因と考えられます。</p> <p>また、活動指標である蔵書数については、前年度よりは減少（4,300冊減）しましたが、計画値までは削減できませんでした。引き続き、蔵書規模の適正化に取り組み、魅力ある棚づくりを進めるとともに、閲覧席増などによる読書環境の向上を図っています。</p>
評価と課題	<p>地域図書館3館を2か月間臨時休館しましたが、コロナ禍においても、貸出回転数や年間貸出数は、ほぼ計画目標どおりの実績となり、必要な情報を提供し区民の学びを支援する図書館の役割を果たしました。</p> <p>今後は、図書館サービスをより充実するために、実行計画等に基づき、ICTタグシステムの導入や読書バリアフリーの推進を図るとともに、老朽化による地域図書館の移転や改築等について、施設の複合化を含め引き続き検討を行います。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>実行計画に基づき、令和4年度の検討を踏まえてICTタグシステムの導入を図るとともに、施設再編整備計画に基づく高円寺図書館及び宮前図書館の移転改築に伴う諸課題に取り組みます。</p> <p>また、令和4年度に改定した「杉並区子ども読書活動推進計画」及び令和4年度に策定する新たな「杉並区図書館サービス基本方針」に基づく事業を推進します。</p> <p>さらに、区の実行計画、教育ビジョン2022推進計画に基づき、図書館利用や読書のバリアフリー化、歴史的・文化的資料の収集とデジタルアーカイブ化について、生涯学習関係施設を中心とした部署や施設との連携を深めていきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00697 )

事務事業名称	次世代型科学教育の推進				款	07	項	04	目	01	事業	014	整理番号	509	
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター		連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	534					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成27年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	04	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 3年度担当課名	生涯学習推進課								事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	区内在住・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体	根拠法令等	( 1 ) 教育基本法第12条 ( 2 )
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	広く子どもから大人まで科学に親しみ、科学に関する多様な体験や触れ合う機会を地域に出向いて提供する。交流自治体や区民、NPO、民間事業者等との協働により、相互のつながりやかかわり合いを促進する。ICTやデジタル技術などを活用した次世代型の科学教育を推進する。	活動指標	移動式プラネタリウムの開催日数
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	移動式プラネタリウムの投影や、北海道名寄市との協働で天文台車による観望会を実施する。最新の科学にふれる展示会や、区内の科学教育関係団体・企業・学校等で構成する実行委員会による「サイエンスフェスタ」を開催する。科学に関する講座・講演会や、小中学生を対象にした夏休み科学講座「フューチャーサイエンスクラブ」を実施する。	指標名 ( 1 )	サイエンスフェスタの出展団体数
		指標名 ( 2 )	
		成果指標	移動式プラネタリウムの参加者数
		指標名 ( 1 )	
		指標名 ( 2 )	すぎなみサイエンスフェスタの参加者数
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 日	24	25	7	15	13	25	86.7	28.0
活動指標 ( 2 )	2 団体	0	26	11	26	15	26	57.7	
成果指標 ( 1 )	3 人	3,263	3,200	624	1,200	1,021	1,800	85.1	
成果指標 ( 2 )	4 人	0	2,300	2,501	2,300	927	1,500	40.3	
事業費	5 千円	11,179	10,716	3,240	14,070	3,940	13,516	特記事項	
( 内 ) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座内容の変更や講座の中止等があり、事業費が約72%の執行残となりました。	
( 内 ) 委託費	7 千円	6,854	4,793	1,848	6,354	1,808	6,193		
職員数	8 人	2.50	1.90	1.90	1.50	1.50	1.50		
上記以外の職員	9 人	2.10	2.10	2.10	1.80	1.50	1.80		
人件費	10 千円	21,795	16,564	16,156	12,755	12,515	12,515		
上記以外の職員	11 千円	6,468	6,468	7,619	6,530	5,513	6,615		
総事業費 ( 5+10+11 )	12 千円	39,442	33,748	27,015	33,355	21,968	32,646		
単位当たりコスト ( ( 12-6 ) ÷ 1 )	13 円	1,643,417	1,349,920	3,859,286	2,223,667	1,689,846	1,305,840		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 ( 12-18 )	19 千円	39,442	33,748	27,015	33,355	21,968	32,646		
受益者負担比率 ( 14 ÷ 12 )	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 509

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )	
	新たな天文学習事業の実施		1,168	人	1,026
	科学博覧会の実施		1,238	人	568
	サイエンスコミュニケーション事業の実施		15	回	2,346
	その他 ( )				

事業実績  
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、一部事業の変更等をした上で実施しました。例年実施している名寄市移動天文台車による観望会は中止し、移動式プラネタリウム事業は代替として平面型スクリーンに投影する天文事業を実施しました。科学博覧会は、予定していた国立科学博物館等の資料を用いた展示を中止し、サイエンスフェスタはオンラインで開催しました。サイエンスコミュニケーション事業は、フューチャーサイエンスクラブなど講座を12回実施し、科学冊子を3回発行しました。

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	平成27年度末で杉並区立科学館が閉館しました。科学館が担ってきた科学教育事業のうち、生涯学習分野については社会教育センターに移管しました。移管に伴い、事業の実施にあたっては、地域施設に出向き、区民、NPO、民間事業者等との協働を重視することとしています。また、次世代型科学教育の新たな拠点づくりについては「区立施設再編整備計画」に基づき、旧杉並第四小学校跡地を活用し整備するため、改修等に係る設計を進めています。 夏休みに実施したフューチャーサイエンスクラブでは、「とても面白かった」等の意見を多数得られる満足度高い講座を実施できました。
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	宇宙や自然、環境へ興味や関心を持つきっかけとして、科学教育の必要性は今後ますます高まっていくものと考えられます。区は、そうした区民の期待に応えつつ、継続的に科学教育事業を展開していきます。
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため移動式プラネタリウムは中止し、代替事業として平面型スクリーンに投影する天文事業を13日実施し、参加者数は1021人でした。すぎなみサイエンスフェスタはオンラインでの開催となり、参加団体数は15団体、参加者数 ( 視聴回数 ) は927人 ( 回 ) でした。
評価と課題	コロナ禍にあっても身近な地域施設等で科学に親しむことができるよう、密を避ける方法での星空の投影や、ワークショップの代替えとして冊子の発行など、科学教育関係団体とも連携しながら取組方法を工夫することで、学びの機会を設けることができました。 今後は、より一層、区民の科学に対する関心を高めるため、令和5年度に開設する「次世代型科学教育の新たな拠点等」との相乗効果の図れる事業の内容を検討していきます。

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 ) ・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	事業の効果的・効率的な執行や施設の有効活用等の観点から、次世代型科学教育の新たな拠点運営事業者を対象に、本事業の委託化を図ります。	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00840 )

事務事業名称	社会教育事業の運営			款	07	項	04	目	01	事業	015	整理番号	510		
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業						
事業開始	昭和26年度														
令和 3年度担当課名	生涯学習推進課										事業評価区分	一般			

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区内在住、在勤、在学の区民</li> <li>○各種社会教育団体</li> </ul>	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第3条、第5条及び第13条 ( 2 ) 杉並区立社会教育センター条例 ほか
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区民や関係団体に対して、主催事業や共催事業等をと</li> <li>おして生涯学習や文化・芸術活動への参加機会を提供し、</li> <li>「個人の主体的な学び」や関係団体の活動の活性化等を支援する。</li> </ul>	活動指標	成人学習支援事業における実施講座数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種の社会教育学級、講座、展示会その他の社会教育事業を実施する。</li> <li>・成人学習 (すぎなみ大人塾、区民企画講座、社会教育セミナー)</li> <li>・社会教育団体協働事業 (杉並区文化団体連合会、杉並区総合文化祭、大学公開講座、ユネスコ活動事業)</li> <li>・社会参加支援 (済美教室、にほんご教室)</li> </ul>	指標名 ( 1 )	社会教育団体協働事業における実施講座数
		指標名 ( 2 )	大学公開講座、ユネスコ活動
		成果指標	成人学習支援事業における延べ参加者数
		指標名 ( 1 )	社会参加支援事業における延べ参加者数
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 講座	0	0	0	5	5	4	100.0	36.6
活動指標 ( 2 )	2 講座	0	0	0	51	13	36	25.5	
成果指標 ( 1 )	3 人	0	0	0	490	383	400	78.2	
成果指標 ( 2 )	4 人	0	0	0	900	616	900	68.4	
事業費	5 千円	0	0	0	10,475	3,838	8,803	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座内容の変更や講座の中止等があり、事業費が約64%の執行残となりました。また活動指標 ( 2 )、成果指標 ( 1 ) 及び ( 2 ) についても、同様の理由から計画値を下回りました。 令和3年度から「社会参加支援」「社会教育センター運営」「社会教育団体協働事業」「成人学習支援」の4事業を本事業に一本化しました。	
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	740	290	988		
職員数	8 人	0.00	0.00	0.00	5.00	5.12	5.20		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	4.20	4.50	4.20		
人件費	10 千円	0	0	0	42,515	42,378	43,384		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	15,238	16,538	15,435		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	0	0	0	68,228	62,754	67,622		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	0	0	0	13,645,600	12,550,800	16,905,500		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	0	0	0	68,228	62,754	67,622		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 2 )

## 令和 3年度 事業実施状況 ( D o )

整理番号 510

	内 容	規模	単位	事業費 ( 千円 )
主な取組	成人学習 ( すぎなみ大人塾、区民企画講座等 )	5	講座	1,979
	社会教育団体協働事業 ( 文化団体連合会補助金、区内5大学公開講座等 )	3	事業	979
	社会参加支援 ( 済美教室3回、にほんご教室2期計56回 )	2	事業	620
	その他 ( 社会教育事業運営のための需用費、役務費 )			260
事業実績	<p>成人学習：すぎなみ大人塾は総合コース1講座、地域コース2講座を開催しました。                  社会教育団体協働事業：新型コロナウイルス感染症の影響下で、各団体の自主性を尊重しつつ活動を支援し、区民の生涯学習や文化活動、芸術活動への理解と参加の促進を図りました。                  社会参加支援：済美教室は年3回開催し、参加者数は延べ45名で、新型コロナウイルス感染症拡大が開催回数や参加者数に影響しましたが、開催方法等を工夫しながら教養講座や体験学習を実施しました。にほんご教室は年56回開催し、延べ571名の外国人が参加しました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題 ( C h e c k )

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 ( 期待・要望・苦情など )	<p>すぎなみ大人塾は、区民意向調査等を踏まえ、区民が地域づくりの担い手として、主体的に参加・参画する場として継続開催しています。                  文化団体連合会と区共催による「杉並区総合文化祭」は、区内における文化・芸術の振興と継承等を目的として昭和26年に第1回を開催しました。団体数は当初の4団体から26団体まで増加しました。大学公開講座は昭和60年度に区内4大学でスタートし、令和3年度は5大学により実施しています。杉並ユネスコ協会は、昭和26年9月から「ユネスコ憲章」に基づき様々な活動を続けています。済美教室は昭和44年の「済美青年学級」以来、平成12年に名称を変更し継続開催しています。にほんご教室は平成3年度開始で、日本語を学ぶほか、参加者の交流の場の役割も担っています。</p>
事業の今後 ( 3~5年 ) の予測と方向性	<p>すぎなみ大人塾は、より地域に密着した形での開催と、卒塾生の活動の機会の拡充を図ります。文化団体連合会は、節目となる「第70回杉並区総合文化祭」の開催など、区内の文化・芸術のさらなる振興に向けた様々な事業を区と協働して行います。大学公開講座は、各大学の協力のもと地域に開かれた身近な学びの場の役割を果たしていきます。杉並ユネスコ協会は、幅広い世代に向けて教育・科学・文化の多彩な事業を展開していきます。済美教室は、障害の程度が重い方や重複障害の方の増加、高齢化の進展が予想されます。にほんご教室は、日常会話から学習内容の高度化など、日本語習得への需要の増大を受けて、引き続き学習機会の提供を図ります。</p>
計画 ( 目標値 ) に対する実績 ( 指標の分析等 )	<p>社会教育事業の運営に当たり、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は甚大であり、各講座ともに開催の中止や回数の減を余儀なくされてしまいました。その結果、活動指標・成果指標ともに目標値を達成することが出来ませんでした。</p>
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、講座の実施方法や内容の見直し、リモート開催の導入など、社会教育事業の運営上かつてない様々な制約と向き合いながらの事業展開となりました。そのような中でも、区民の期待に応えて学びの機会を提供すべく、様々な工夫をこらしてきました。「対面」を基本としてきた社会教育事業において、「対面」以外の方法をどのように確立していくのか、またその学習効果 ( 成果 ) をどのように測定するのか、さらなる研究が必要です。</p>

## 令和 5年度の方針 ( A c t i o n )

予算の方向性 ( 見直しの視点 )	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し ( 改善 )
予算の方向性の理由・内容	<p>令和5年度に社会教育センターの改修が完了しリニューアルオープンされるのに合わせて、各事業についてその内容や実施方法の見直しを行うとともに、より効果的で効率的な事業の運営・周知方法等を検討し、事業目的の達成を図ります。                  また、新たに策定された「杉並区教育ビジョン2022」の理念である「区民誰もが学びを通して自分らしく豊かに生きる」ことの実現に向けて、主体的な学びの場や機会を積極的に提供するなど、必要な支援を続けていきます。</p>	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00529 )

事務事業名称	社会教育センター維持管理			款	07	項	04	目	02	事業	001	整理番号	511
現担当課名	生涯学習推進課		係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	535		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度												
令和 3年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	社会教育センター利用者	根拠法令等	( 1 ) 社会教育法第3、5条 ( 2 ) 杉並区立社会教育センター条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。	活動指標	施設利用回数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者に対し、社会教育の学習の場を提供するとともに、一般区民の利用施設として快適で安全な環境を図るため、修繕を含めた施設の適正な維持及び管理を行う。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 ( 1 )	1 回	4,805	5,000	2,390	0	0	0	0.0	70.0
活動指標 ( 2 )	2								
成果指標 ( 1 )	3								
成果指標 ( 2 )	4								
事業費	5 千円	73,923	76,033	68,127	37,012	25,920	13,669	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	セシオン杉並は新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として活用したことや、それに伴う施設改修工事の開始時期の変更等により、施設保守管理委託費や修繕費等に執行残が生じ、執行率が70%になりました。活動指標(1)については、施設の休館が続くため、令和4年度も実績はありません。	
(内) 委託費	7 千円	51,040	52,214	52,078	26,374	17,995	6,834		
職員数	8 人	1.10	1.30	0.97	1.10	1.20	0.40		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	9,590	10,490	7,529	8,635	8,997	3,337		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	83,513	86,523	75,656	45,647	34,917	17,006		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	17,380	17,305	31,655	0	0	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	83,513	86,523	75,656	45,647	34,917	17,006		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 511

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設保守管理委託	1	所	18,905
	光熱水費の支出	1	所	6,703
	施設維持経費の支出（修繕費、消耗品の購入等）	1	所	312
	その他（ ）			
事業実績	<p>社会教育センターのある「セシオン杉並」は、令和3年4月から10月においてワクチン接種会場として活用し、その後12月から改修工事を開始しました。 その間、必要な施設の維持管理を行いました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>「セシオン杉並」をワクチン接種会場として活用していた期間など、改修までの間も維持管理経費が最小となるように常に工夫してきました。 令和5年度のリニューアルオープンに向け、これからも維持管理の在り方等について検討を重ねていきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>令和5年度から、社会教育センターを含めた「セシオン杉並」は指定管理者による施設の維持管理に移行しますが、これまで積み上げてきた施設の維持管理上のノウハウや情報をしっかりと指定管理者へ引継ぎ、区民へのサービス提供に支障の無いように配慮していきます。</p>	



# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00530 )

事務事業名称	郷土博物館の維持管理			款	07	項	04	目	02	事業	002	整理番号	512
現担当課名	生涯学習推進課		係名	郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	536		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成元年度												
令和 3年度担当課名	生涯学習推進課							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	博物館利用者	根拠法令等	( 1 ) 博物館法 ( 2 ) 杉並区立郷土博物館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	歴史・文化資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。	活動指標	開館日数
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	本館、分館、松ノ木遺跡、館外収蔵庫2か所の維持管理を行う。	成果指標	
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1 日	275	242	244	294	232	294	78.9	91.4	
活動指標 ( 2 )	2									
成果指標 ( 1 )	3									
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5 千円	35,679	48,704	45,283	40,863	37,334	41,560	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	25,416	35,616	33,895	28,495	26,929	28,529			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.05	1.00	1.05	1.00	1.02	1.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	9,154	8,718	8,928	8,503	8,510	8,343		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	44,833	57,422	54,211	49,366	45,844	49,903			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	163,029	237,281	222,176	167,912	197,603	169,738			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	44,833	57,422	54,211	49,366	45,844	49,903			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

## 令和 3年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 512

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設の保守管理委託（電気機械設備等保守点検、清掃等建物管理、植栽管理）	2	館	27,072
光熱水費の支出	2	館	7,765	
施設の維持管理（機器リース、消耗品管理等）	2	館	1,522	
施設の整備（一般修繕）	2	館	975	
その他（ ）				
事業実績	館の運営に不可欠な清掃業務、機械設備保守点検、収蔵庫燻蒸作業等を委託により実施しました。また、館内照明のLED化を進めるとともに、展示室用の室外機の部品交換を行い、設備の保全を図りました。			

## 令和 3年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	館外収蔵庫として旧若杉小収蔵庫等を活用し、恒常かつ安定的に収蔵が可能な施設の確保を進めます。また、増大する収蔵資料の棚卸しも適宜行いつつ、安定的な収集・保存が行えるよう、場所の確保を行います。

## 令和 5年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	機器故障や施設の傷み等に対しては、予防的な観点で対応を行い、安定的な施設の維持管理を行うことで、急遽で大規模な支出の抑制を図ります。また、増大する収蔵資料の棚卸しも適宜行いつつ、安定的な収集・保存が行えるように、場所の確保を行います。	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00531 )

事務事業名称	図書館施設維持管理			款	07	項	04	目	02	事業	003	整理番号	513
現担当課名	中央図書館		係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	537		
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和27年度												
令和 3年度担当課名	中央図書館							事業評価区分	施設維持管理				

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)	根拠法令等 ( 1 ) 図書館法 ( 2 ) 杉並区立図書館条例
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	図書館利用者等に、安全で快適な施設利用環境を提供する。	活動指標 指標名( 1 ) 開館日数(全館累計) 指標説明 指標名( 2 ) 利用者数(全館累計) 指標説明
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	施設の適正な維持管理を行い、図書館利用者等の安全性及び利便性の向上を図る。	成果指標 指標名( 1 ) 指標説明 指標名( 2 ) 指標説明

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率(%)
活動指標( 1 )	1 日	3,756	4,056	3,552	4,325	4,314	4,314	99.7	92.4
活動指標( 2 )	2 人	2,323,830	3,250,000	1,875,460	3,300,000	2,693,640	3,300,000	81.6	
成果指標( 1 )	3								
成果指標( 2 )	4								
事業費	5 千円	114,087	151,348	119,113	149,753	138,418	145,283	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和3年度は、令和2年9月にリニューアルオープンした中央図書館が、通年での開館となったため事業費増となった。 また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2か月間全館が休館となり事業費が減となったが、令和3年度は一部臨時休館はあったが、全館休館がなかったため、前年より事業費増となった。	
(内) 委託費	7 千円	67,168	80,232	69,179	96,979	89,344	92,034		
職員数	8 人	4.67	4.00	4.68	4.00	4.27	4.00		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00		
人件費	10 千円	40,713	34,872	39,794	34,012	35,625	33,372		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	3,628	3,675	3,675		
総事業費(5+10+11)	12 千円	154,800	186,220	158,907	187,393	177,718	182,330		
単位当たりコスト((12-6)÷1)	13 円	41,214	45,912	44,737	43,328	41,196	42,265		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計(14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源(12-18)	19 千円	154,800	186,220	158,907	187,393	177,718	182,330		
受益者負担比率(14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 513

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	設備保守管理委託	4	館	88,612
	光熱水費の支出	4	館	33,372
	施設修繕・消耗品等購入	4	館	6,022
	その他（賃借料ほか）			10,412
事業実績	中央図書館及び地域図書館（3館）における光熱水費の支払い業務のほか、清掃業務委託や警備委託などの施設管理業務、事務機器等の賃借、施設の修繕などを実施しています。			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、保健所の新型コロナウイルス感染症対策業務への応援人員を確保するため、1月21日から3月21日まで地域図書館3館を臨時休館したことにより、活動指標である利用者数の目標値には到達しませんでした。</p> <p>また、中央図書館（令和2年9月リニューアル）・永福図書館（令和3年4月移転改築）・高円寺図書館（令和7年3月移転改築）以外の地域図書館（10所）については、築57年～築14年経過しており、施設や設備の老朽化が課題となっています。今後の施設の改築・改修については、実行計画や施設再編整備計画等に基づき、杉並区立図書館サービス方針等を踏まえて、計画的に対応していきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	安全安心で、快適な図書館サービスの提供のため、不具合等の予防保全・早期解消を図るべく、引き続き施設の維持管理について、保守点検・維持保全業務等を適切に実施していきます。	

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表 ( 1 )

( 00822 )

事務事業名称	高円寺図書館の移転改築				款	07	項	04	目	03	事業	006	整理番号	516	
現担当課名	中央図書館		係名	施設整備担当		連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	542					
上位施策No・施策名	29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり								予算事業区分	投資事業					
事業開始	令和 2年度	実行計画事業	目標	05	施策	29	計画事業	03	主要事業 ( 区政経営報告書掲載事業 )						
令和 3年度担当課名	中央図書館								事業評価区分	一般					

## 令和 3年度 事務事業の概要 ( P l a n )

対象	図書館利用者及び団体 ( 学校、保育園、ゆうゆう館など )	根拠法令等	( 1 ) 地方自治法第2条、第232条 ( 2 ) 杉並区立図書館条例第2条、第10条
事業の目的・目標 ( 対象をどのような状態にしたいのか )	令和3年度に基本設計をまとめ、旧杉並第八小学校校舎解体工事と実施設計を行う。 令和4年度に建設工事に着手する。 令和6年度に竣工の後、供用開始する。	活動指標	設計進捗率
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	
		指標名 ( 2 )	工事進捗率
		指標説明	
活動内容 ( 事務事業の内容、やり方、手段 )	旧杉並第八小学校の跡地へ建設する ( 仮称 ) 杉並区立高円寺図書館等複合施設内へ移転・改築する。	成果指標	改築工事進捗率
		指標名 ( 1 )	
		指標説明	基本、実施設計及び改築工事全体を通じた進捗率
		指標名 ( 2 )	
		指標説明	

## 指標、総事業費・コスト把握 ( P l a n ・ D o )

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 ( 目標値 )	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 ( 1 )	1		20	40	60	60	0	100.0	74.6	
活動指標 ( 2 )	2		0	0	20	20	20	100.0		
成果指標 ( 1 )	3		0	0	40	40	14	100.0		
成果指標 ( 2 )	4									
事業費	5	千円	52,465	40,315	27,933	20,831	378,236	特記事項		
( 内 ) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	埋葬文化財調査及び解体工事請負契約が入札の結果、予定価格よりも低く、落札差金が発生したために予算執行率が低くなりました。また、実施設計委託費の予算計上については、令和2年度に前払い分、令和4年度に完了払い分としたため、令和3年度は事業費減となりました。		
( 内 ) 委託費	7	千円	52,065	40,315	26,130	20,676	378,186			
職員数	8	人	1.00	1.46	1.00	1.04	2.00			
上記以外の職員	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
人件費	10	千円	8,718	12,414	8,503	8,677	16,686			
上記以外の職員	11	千円	0	0	0	0	0			
総事業費 ( 5+10+11 )	12	千円	61,183	52,729	36,436	29,508	394,922			
単位当たりコスト ( 12÷1 )	13	円	3,059,150	1,318,225	607,267	491,800	0			
財源	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0			0
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0			0
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 ( 14+15+16+17 )	18	千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 ( 12-18 )	19	千円	61,183	52,729	36,436	29,508	394,922			
受益者負担比率 ( 14÷12 )	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

## 令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 516

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	調査及び設計業務委託			591
	解体工事			19,856
	その他（設計事務費等）			384
事業実績	<p>「区立施設再編整備計画」に基づき、旧杉並第八小学校跡地にコミュニティふらっと等との複合施設として移転改築するため、令和3年7月にまちづくり条例に係る住民説明会及び既存建物等解体工事住民説明会、10月に中高層建物整備紛争予防条例に係る住民説明会等を開催し、地域住民の意見を聴きながら実施設計を行いました。</p> <p>また、7月の説明会開催後、工事工程のとおり解体工事を進めました。</p>			

## 令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>平成29年11月に改定された杉並区区立施設再編整備計画（第一期）において、高円寺図書館は、地域コミュニティ施設などの複合化を基本に、統合後の杉八小の跡地へ移転・改築するための検討を進めることとなり、杉並区区立施設再編整備計画（第二期）において、コミュニティふらっととの複合化による図書館サービスの向上を視野に、令和6年度に杉八小の跡地を活用して整備することとなりました。</p> <p>また、住民説明会では、図書館の移転に対する反対意見はありませんでしたが、建設・運営に対する意見（24時間開放する屋外通路に関して防犯等の安全への配慮等）が寄せられました。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和3年度 旧校舍解体工事 令和3～4年度 実施設計 令和6年度 開設予定</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>現在まで、改築工事進捗率（成果指標）、設計進捗率・工事進捗率（活動指標）の各項目は、計画目標値に沿った進捗が確保されており、予定に沿った開設（令和7年3月）が見込まれます。</p>
評価と課題	<p>施設整備に当たっては、現在の高円寺図書館の蔵書規模や閲覧スペース等の機能、複合施設の前例である永福図書館の運営状況、区立集会施設等既存施設の利用状況等を参考にするとともに、住民説明会での意見や地域特性等を踏まえながら、実施設計に取り組んでおり、計画どおりに進行しています。</p> <p>また、跡地に整備される複合施設（図書館・コミュニティふらっと）と併設される体育館を含めた公園等の管理運営方法について、一体的な運用ができるよう検討していきます。</p>

## 令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>令和4年度中に複合施設棟建設工事説明会及び公園整備工事説明会を行い、建設工事及び公園整備工事に着手し、複合施設棟は令和7年3月に開設予定です。</p>	